



編集 SEF 事務局  
 連絡先 03-3669-0499  
 URL <http://sef-jpn.org>

**巻頭のこぼ 「年頭ご挨拶」** **理事長 佐立弘臣**

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には良いお正月を清々しく迎えられたことと存じます。

今年は「酉」年(とりどし)、干支は「丁酉(ひのと・とり)」になります。「丁」は樹木の幹から枝が沢山出て、垂れ下がっている状態。「酉」は酒を醸造する器の象形文字。収穫物から酒を抽出の意味から「実る」こと。「丁酉」の年は多くの実り(変革)がある年と言われています。

今年はイギリスの EU 離脱、アメリカのトランプ大統領誕生、韓国の弾劾裁判など流れを変えたいと思う人々により多くの変革が実行される年になります。さらに 4 月と 6 月のフランスの大統領選挙、国民議会選挙、9 月のドイツの連邦議会選挙などの結果により欧州は「メルケル政権・EU の継続」か、「反 EU・反難民」への道を進むのか。またトランプ大統領の政策、特に TPP,日米安保体制などにより日・米・中のバランスの変化が予想されます。これらの変革で後の歴史学者は「2017 年は大変革の年」と呼ぶ年になるかもしれません。

会員の皆様と SEF にとって、実りの多い年になりますよう祈念いたします。

<b>12 月度(第 160 回)理事会報告(12 月 13 日)</b>	
《第 160 回理事会》 1. H29 年度事業計画策定の件 → 審議承認 2. 正会員入会(松下隆氏)の件 → 審議承認 3. クニミネ社覚書締結・SEF 内業務委託契約書の件 → 審議了承	4. SEF 事務所電話回線デジタル化変更の件 → 報告了承 5. 会員種別変更の件 → 報告了承 6. HP 更新業務進捗の件 → 報告了承 7. H28 年 11 月度会計報告 → 報告了承 8. SEF 運営と法規・規定の件(継続)

**事業報告 業務支援部(GS部)** **担当理事 眞鍋康雄**

第3Qを終えて今期の仕上がりを見通す時期になりました。今期の当事業部の活動は、前期からの継続事業の低迷や終了案件があり、厳しい情勢でした。が、皆様のご尽力により新規事業が2件立ち上がった事により前年並みの事業規模が確保できる見通しです。ここ6年間位で評価しますと、一昨年に次いで2位の収入レベルですので、まずまずと言えるのかも知れません。業務支援事業部会(GS部会)も各位のご協力で参加者が増えている事や、先端分野の見学会も計画通り開催している事で活力が高まっている状況です。

**成行報告 SEF HP更新** **担当理事 波多野正幸**

昨年、SEF内外からホームページ(HP)に対する意見が届き、HPの役割、内容を見直す事が提案されました。今期(15期)の事業活動として、「HP更新チーム」が6人のメンバで発足しました。現状のHPについて会員へのアンケートにより使用状況、問題点を確認する事からスタートして、12月には本格的な製作にかかり、2017年6月にはリリースする予定です。新HPでは、新機能を準備して便利で使いやすいHPを目指しています。

**SEF サロン 第 97 回案内** **担当理事 白崎善宏**

《 第 97 回案内 》  
 日時:2017 年 1 月 18 日(水) 18 時 場所:青学会館内アイビーホール 1F「フェア」  
 演題 東シナ海石油開発問題のその後と「中国の脅威」  
 講師 猪間明俊 工学博士 元石油資源開発取締役

猪間氏には 2005 年 12 月に「東シナ海ガス田開発問題」と題して SEF サロンでご講演いただきましたが、11 年が経過した現在の状況について、ご講演をお願いしました。最近、世間では南シナ海に注目が集まっていますが、日本にとっては言うまでもなく、東シナ海問題が重要です。今回は特に「海域の石油ガス資源開発は今どうなっているのか」「中国は脅威か？」に焦点を当ててお話いただきます。氏は「東シナ海ガス田開発の合意とは何なのか」を雑誌「世界-2015 年 10 月号」に寄稿されています。

<b>12 月度会員動向</b>	
会員入退会 荒井氏(正→準)H28/12 松下氏(準→正)H29/1	1 月 1 日 会員数 正会員・30 名、準会員・28 名、賛助会員・2 社